

なんかん町議会だより

ふね

やまざと

VOL.76

[12月定例議会号]

令和7年2月15日



「南関町シルバー人材センター」のみなさん (詳細記事 P14)

会員：64人

活動内容：高齢者の能力を積極的に活用し、高齢者の福祉の増進することを目指し、定年退職者や高年齢退職者の希望に応じた短期的な就業の機会を提供。

南関町議会

🔍 検索



議会のホームページはこちらから▶

P2. 議案審議

P4. 委員会報告

P7. PFAS 検出

P8. 一般質問、されど一般質問

P9. 一般質問

P14. 生の声を聴く

令和6年第4回南関町議会定例会は、令和6年12月3日～6日（会議日数3日）で開催され、町長提出議案 24件 委員会提出議案 2件 議員派遣の件 1件で審議されました。

町長提出議案

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案58号	専 決 (補正予算)	専決処分の報告及び承認を求めることについて 令和6年度南関町一般会計補正予算（第4号） ●歳入歳出それぞれ1,697万6千円を追加し、総額66億8,208万5千円	全会一致可決
議案59号	条 例	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全会一致可決
議案60号	条 例	南関町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決
議案61号	条 例	南関町地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決
議案62号	条 例	南関町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決
議案63号	条 例	南関町飲料水供給施設条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決
議案64号	補正予算	令和6年度南関町一般会計補正予算（第5号）について ●歳入歳出それぞれ1億5,240万8千円を追加し、総額68億3,449万3千円	全会一致可決
議案65号	補正予算	令和6年度南関町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について ●歳入歳出それぞれ114万9千円を追加し、総額13億6,250万6千円	全会一致可決
議案66号	補正予算	令和6年度南関町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について ●歳入歳出それぞれ459万9千円を追加し、総額14億6,328万7千円	全会一致可決
議案67号	補正予算	令和6年度南関町下水道事業補正予算（第2号）について ●収益的収入額に193万6千円追加し、総額2億7,052万5千円とし、収益的支出額に184万1千円追加し、総額2億8,496万8千円とする。 ●資本的支出額に46万1千円を追加し、総額2億329万9千円とする。	全会一致可決
議案68号	その他	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	全会一致可決
議案69号 ～79号	人 事	南関町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 南関地区：山田守光 片山義信 賢木地区：末竹信雄 城戸英次 西田亜希 井上繁孝 大原地区：菅原一真 平山竜代 福山健治 坂下・四ツ原地区：北原義博 三浦雅善 計11名	全会一致同意
議案80号	条 例	南関町政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決
議案81号	その他	物品売買契約の締結について 契約の目的：多世代交流拠点施設（南の関うから館）必要物品一式 入札の方法：指名競争入札 契約金額：2,834万7千円 契約の相手：東京都港区青山1-2-6 ラティス青山スクエア6階 株式会社インターオフィス	全会一致可決

委員会提出議案

議案番号	議 案 名	審議採決の結果
委員会提出 議案第1号	南関町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について ●議員が町に対し請負（地方自治法第92条の2に規定する請負）する場合における請負の状況を公表すること等により、透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図ることを目的とし制定	全会一致可決
委員会提出 議案第2号	南関町議会ハラスメント根絶条例の制定について ●議員の立場を利用した、職員に対するハラスメント及び議員間のハラスメントを防止・根絶するための措置を講じ、職員及び議員が個人としての尊厳を尊重され、町政の効率運用に寄与し、町民から信頼される議会の実現に資することを目的に制定	全会一致可決

町長提出議案・・・24件
委員会提出議案・・・2件

議員派遣の件

「議員派遣の件について」

目的 議員の資質向上を図るため
派遣場所 長崎県（長与町、佐々町）
期 日 令和7年1月28日～1月29日の2日間
派遣議員 北原浩一郎委員長 福山美佳副委員長 立山秀喜議員 山口純子議員 井下忠俊議員
中村正雄議員

全会一致
可決

陳情付託の件

「文教厚生常任委員会・陳情付託の件」

陳情第4～6号（令和6年10月29日受理）

- 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書
 - 介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める要請書
 - 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書
- （審査の結果） 継続審査
（委員会の意見） 町内事業所の実情調査、把握が必要なため

全会一致
可決

令和6年度一般会計補正予算（第5号）

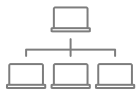
1億5,240万円を追加 総額 **68億3,449万円**

補正予算の注目事業

建設課

- 農地等災害復旧費 2,984万円 11件分（令和6年6月梅雨前線豪雨、9月豪雨、台風10号）
- 河川等災害復旧費 2,943万円 2件分（台風10号、9月豪雨）

教育課



- 学校ネットワーク環境アセスメント検査手数料 343万円（5校分）

内容：教育現場においてデジタルの利活用が本格化していくことで、さらに大容量の通信が発生することが想定される。ネットワークの安定性、通信速度、セキュリティレベル、デバイスの接続能力等に問題が生じていないか分析と調査をする。



- 新図書館に係る費用 合計1,050万円

（主な費用）・新図書館の図書館名ラベル及び本のバーコード印刷代 220万円（8万冊分）
・図書マーク化委託料 48万円
・新図書館での選書のための図書館システムセット及びサポート料 64万円
・新図書館の一般書・児童書の購入費 700万円（2,000円×3500冊分）

経済課

- 有害鳥獣捕獲業務委託料 50万円（5,000円×100頭分）

令和6年10月末時点で鳥獣捕獲数 イノシシ 613頭 その他鳥獣 32頭。
過去3年間の平均より200頭多く、今後も増加が見込まれる。

福祉課

- 児童手当 1,547万円 支給対象者拡充に伴う増額

令和6年10月から、支給月が年3回から、年6回へ（2か月ごと偶数月に支給、初回支給は12月）。
支給対象児童が15歳の年度末（中学校卒業程度）から、0歳から18歳の年度末（高校卒業程度）まで。



- 【日 時】 令和6年11月6日(水) 13時～16時
 【場 所】 グランメッセ熊本 コンベンションホール
 【出席者】 山口純子 福山美佳 山下飛鳥主査
 【内 容】 「第17回熊本県町村議会広報コンクール表彰式と
 令和6年度町村議会広報研修会」

町村議会広報コンクールでは、特選：湯前町、入選：大津町と御船町、特別賞：高森町が受賞され、表彰が行われた。

審査ポイントとしては、①内容 ②見やすさ ③表現力 という、3つの観点により優れた自治体の広報を参考に評価され、学ぶことが多々あった。

本町の議会だよりもこのコンクールに応募し、審査員よりコメントをいただいているので、今後の広報誌作成に活かせるよう見直しを図っていきたい。



議会だより「山郷」に対する審査員からのコメント（改善点のみ記述）

- ・デザイン処理が多く、同一ページ中にテイストの異なるイラストが複数配置されるなど全体に落ち着かない紙面。
- ・議案審議がびっしり過ぎて見づらい。
- ・一般質問で、議員によって「まとめ」があったりなかったり。自由なのだろうが違和感あり。
- ・一般質問で、議員の顔写真はもう少し正面を向いてもいいのでは。

など

その後、議会広報ファシリテーター・熊本大学客員教授の越地真一郎氏の進行のもと、入賞した自治体と参加者で「住民の期待にこたえているか！」のテーマでパネルディスカッションが行われた。

相違工夫された点や苦労話などを聴くことができ、どの自治体も広報誌作成に対する熱意が感じられ、共感や刺激を受けることができた。

南関町の議会だよりも、今回学んだことを取り入れ、もっと読んでもらえる議会だよりを目指し、今後の紙面づくりに反映していきたい。



南関中学校に出前授業

- 【日 時】 令和6年10月10日(木) (5時間目・6時間目)
 【場 所】 南関町立南関中学校 ランチルーム
 【参加者】 南関中3年生(1組、2組)
 北原浩一郎、福山美佳、立山秀喜、山口純子、井下忠俊、中村正雄
 【目 的】 文教厚生常任委員会の調査活動を充実させ、町の未来を担う中学生の生の声を今後の委員会活動に活かしたいと考えるため。



- 【授業内容】 1. 議会と文教厚生常任委員会の紹介「南関町って何するところ？」(出前授業)
 (南関町議会と委員会の役割、選挙、二代表制についてスクリーンを使って説明)
 2. 中学生に直結する今年度町予算の紹介
 (町の予算の中で教育費はどのくらいか、また中学生に使われる町のお金の紹介)
 3. ワークショップ①
 1と2を終えて質疑応答と意見交換(1グループに議員1名)
 4. ワークショップ②
 「南関町に望むこと」をテーマに意見交換(1グループに議員1名)
 5. グループ意見発表
 6. アンケートの依頼

【出前授業を終えて】 中学生が自分の住む町に対して、それぞれの考えをしっかりと述べ、次々に疑問点を発言する姿に関心した。中学生の視点を直接伺うことができ、私たちも多くを学ぶことができた。今後の委員会活動にしっかりと活かしていきたい。

【ワークショップ① 中学生の主な意見】

- 予算のもとのお金はどこから出てきているのでしょうか。
(総務課) 予算のお金(収入)は、国や県からの交付金、町民の皆さんが納める税金が収入となります。
- 地震などの災害が起きた時の予算はどこから出てくるのでしょうか。
(総務課) 大規模な災害が発生した場合、国から復興にかかる費用に対して交付金がきます。その他、募金などがあります。
- 前の役場は壊さないんですか。
(総務課) 前の役場は令和7年に壊す予定です。壊した後は、賃貸住宅を建てる計画があります。
- 2つの委員会に分かれるときどのようにどっちの委員になるか決まるのですか。
(議会) それぞれの希望を聞き決まります。人数が偏ったときは、協議の上、議長の采配で決まります。



【ワークショップ② 中学生の主な意見】

- 通学路の整備をしてほしい。街灯、草刈りなど。
(教育課) 学校からの通学路の危険箇所や整備についての要望について通学路安全推進会議で協議や実際の現地を確認して計画的に整備を行っています。
- 漢検にも補助金を出してほしい。
(教育課) 南関町立学校のあり方検討委員会で皆さんの意見について協議します。
- トイレを洋式にしてほしい、鏡が欲しい。
(教育課) トイレの洋式化については、計画的に実施している。中学校についても計画をしているところです。
- 美術室のカーテンを替えてほしい。
(教育課) 学校の修繕等については、優先順位をつけて計画的に行っているところです。
- スクールバスがほしい。
(教育課) 南関町立学校のあり方検討委員会で皆さんの意見について協議します。

【終了後のアンケート結果】

①南関町議会、町議会のはたらきが

- | | | | |
|-----------|-----|--------|-----|
| • よくわかった | 22名 | • わかった | 16名 |
| • もっと知りたい | 4名 | • 興味ない | 2名 |

②18歳になって選挙権をもったら

- | | | | |
|-----------|-----|-----------|-----|
| • 必ず選挙に行く | 24名 | • 選挙に行くかも | 19名 |
| • 行かない | 0名 | • 興味ない | 0名 |

③大人になったら、議員になってみたいと

- | | | | |
|--------|-----|---------------|-----|
| • 思った | 0名 | • 選択肢の中に入れてみる | 15名 |
| • 思わない | 21名 | • 興味ない | 6名 |

④今日の出前講座は自分のために

- | | | | |
|-----------|-----|----------|----|
| • なった | 43名 | • ならなかった | 0名 |
| • どちらでもない | 0名 | | |

⑤中学生向けの議会だより等があったら読んでみたいと思いますか

- | | | | |
|-----------|-----|-------|----|
| • はい | 23名 | • いいえ | 2名 |
| • どちらでもない | 18名 | | |



【中学生の感想】

- 議員が普段どんな活動をしているか予算の事など知らなかった、今日知ることができてよかったので、良い経験になった。(他18名)
- 議員と身近に関わることがないので質問したり、要望を考えたり関わることができて嬉しかった。(他10名)
- 自分たちが望むことが現実的になったらうれしい。(他4名)
- 南関町の事をたくさん考えた。もっと活性化すると思う。(他4名)

など



- 【研修日】 令和6年11月5日(火)、6日(水)
- 【場 所】 宮崎県都城市高崎町、大分県日田市諸留町
- 【参加者】 杉村博明、西田恵介、立山比呂志、矢野修一、
伊藤博長、福山光明事務局長、武田信幸経済課長
- 【研修内容】 当委員会では、11月5日午後、宮崎県都城市高崎町の大和フロンティア株式会社を視察し、翌6日午前より大分県日田市諸留町の株式会社グリーン発電大分の視察を行った。



大和フロンティア株式会社

まず、大和フロンティア株式会社では田中浩一郎社長の挨拶の後、会社概要について社長より説明を受けた。大和フロンティアが製造・販売する竹を材料とした「笹サイレージ」が農産物の有機肥料として販売拡大中で、福岡を除く九州6県で実証実験の結果が出ており、鹿児島工場も稼働し前年比の3倍増となっている。

ウクライナ危機で飼料・肥料の価格が高騰する中、より安価な代替品としても期待されている。笹サイレージは、竹を粉砕して乳酸発酵させたもので、厄介物だった放置竹林を所有者に代わって無償伐採し、飼・肥料として生産者に格安で提供し「三方良し」となっている。

2016年に販売を開始され、牛、豚、鶏の肉質改善や枝肉の重量増加といった効果が上がっている。また、近年では特に好調なのが土壌改良材としての活用で「土中の雑菌繁殖を抑える善玉菌の活性を促す」として九州全域に広がっている。また、背景には各県JAや自治体による実証実験での成果があり、これまで水稻や各野菜、果物、花など約20種類で効果が確認されており、そうか病、根腐れなどの発生が抑制されたほか、根の活着や茎、花の生育状況が向上し、作物によっては収量が4割増、糖度が2度ほどアップした果樹もあり、笹サイレージの成果が発揮されていることが伺えた。

製品は竹のチップでなく、竹を粉末状態まで行って製品化し、製造販売まで行っている会社であった。

株式会社グリーン発電大分

続いては、大分県日田市にある株式会社グリーン発電大分の視察を行った。初めに、石田博社長より挨拶を受け、本部長の森山秋平氏より会社概要の説明があり、木質バイオマス発電設備「天瀬発電所」を2013年の稼働開始し、発電出力 5,700KW、年間 4,500万KW を送出しており、エネルギーの地産地消を実現されている。2017年9月より新たに設立された地域新電力会社を通じ、市役所や小中学校を始めとする市内38公共施設に対して電力の供給を開始されている。また、園芸ハウスなどの農業利用にも取り組まれていた。



【考 察】

大和フロンティア株式会社の笹サイレージは南関町の農畜産物の飼料・肥料にも十分に活用できる商品であり、JAなどを通じた取引もできるのではないかと。荒廃した竹林整備も魅力的であった。また、株式会社グリーン発電大分での研修では杉・檜などの間伐材利用で山の整備が出来ていて一石二鳥、三鳥の効果が伺えた。

南関町もこういった取り組みが出来ないのかと考えさせられた研修であった。

2024年11月 産廃最終処分場2施設内の井戸から基準値を超える 有機フッ素化合物（PFAS）が検出

R6年12月5日の全員協議会において、地下水におけるPFOS及びPFOA指針値超過について、熊本県循環社会推進課・環境保全課から説明があった。

南関町の「エコアくまもと」（米田地区）では、6つの監視井戸のうち3カ所で、1L（リットル）あたり50ngという国の暫定基準値を超えた。最大で200ngだった。別の民間処分場（肥猪地区）でも、90ngが検出された。県は半径500m以内の住民の井戸を検査したが、国の暫定基準値を超える井戸はなかったとしている。また、施設の遮水構造や管理状況などから、県は「処分場がPFASの原因ではないと確認した」としている。

【管理型最終処分場】エコアくまもと



国の暫定基準値：1L（リットル）あたり50ng
※ngとは、10億分の1グラムの質量を表します。

これまでの対応状況

- 指針値超過が確認された22日から区長、住民・事業所（4地区49者：住民36、事業所13）へ注意喚起（井戸水の検査で指針値以下が確認されるまで飲用を控えること）、井戸水の採取、給水支援（ペットボトルの配布）を実施。
- 注意喚起は11月25日までに完了。
- 井戸水の採取は11月26日までに完了。
- 注意喚起の対象となる住民・事業所を対象に、25、26日に南関町で住民説明会を実施。（和水町は対象が少ないため個別説明）
- 11月29日に追加調査の速報値（暫定的な調査結果）が判明。
全ての井戸で指針値（50ng/L）以下であることが確認された。
- 上記、調査結果について、住民・事業所（4地区49者）に11月29日に周知。
- 報道を見た半径500m以外の住民から説明会をしてほしいとの要望があり、また、調査結果（速報）が判明したことから、12月2日に改めて住民説明会を実施。

【安定型最終処分場】民間事業者



議員から以下のような要望を行った。

県の責任において、原因究明に力を入れ、継続したモニタリングをしてほしい。

地下水は住民にとっては命に係わる問題である。地下水下流に位置する住民もいるので、半径500m以内の住民に限らず、希望する住民の井戸を検査してほしい。

住民の井戸水検査で1L（リットル）あたり50ngを越えなかった数値は公表されていない。住民は数値が出ているのか出ていないのか、とても気になると思う。「50ng/L 以下」ではなく、そのままの数値を公表すべき。

南関町の名前が全国放送されたので風評被害の発生が懸念される。
風評被害対策を最大限に行ってほしい。



一般質問、されど一般質問！



一般質問は、議員にとって、議会の議席を預かり、まちの課題にとりくむ政治家として、町民の暮らしを支える自治体の〈政策・制度〉をよりよいものにするための、町政に対する監査（チェック）と政策提案を行う絶好の機会であり、議員活動の柱と言えます。

そのため、議員は一般質問を行うにあたり、現状の課題を分析し、分析した事実から言えることや言いたいことを整理するなど、時間をかけて準備します。

一般質問の機会は、年に4回。一般質問の詳細は、議事録や議会だより「山郷」に記載しておりますが、「だれが、いつ、どのような質問をしたのか」について、質問のタイトルを整理しました。



議 員		令和6年 定 例 議 会			
		3 月	6 月	9 月	12 月
1	福山美佳	「新しい未来の幕開けとともに新たなチャレンジができる町」の実現に向けた町の構想について	- 小中学生の学力と町の教育方針について - シルバー人材センターについて - 国道443号の通学路について	魅力を創造する新うから館について	小中学生の不登校といじめについて
2	伊藤博長	- 旧石井家住宅（北原白秋生家）保存整備事業について - 定住促進策について		- 就農者の確保策について - 身寄りのない高齢者の終活支援策について	- 荒廃農地の現状と対策について - 環境保全型農業直接支払交付金制度について
3	矢野修一		- 六次産業の推進と課題について - 南関町加工品開発センターの現状と今後について		- 九州道南関インターチェンジ周辺の開発と土地利用について - 役場庁舎への県道側進入口の道路整備について
4	西田恵介			ふるさと納税について	
5	北原浩一郎			- フットパスの活用について - 南関町地域未来構想の進捗状況について	健康寿命を延ばす施策について
6	中村正雄		- 文化財の保存と活用について - 人口減少問題について	- 子どもの幸せを実現する教育について - 行政サービスの外部化について	
7	杉村博明	公金振込手数料有料化について			- 町道楮原～萩谷線の拡幅について - 企業誘致関連について
8	井下忠俊		災害時における南関町の現状と対策、そして今後の取組について		- がん教育とアピアランスケア（外見支援）について - 町政懇談会について
9	境田敏高	安心安全なまちづくりにについて	- 地域公共交通について - 鳥獣被害対策について	- 空き地の適切な管理について - 行政改革について	
10	山口純子	町長3期目の2年間の総括と今後2年間の課題や具体的な取り組みについて		町内高齢者のひとり暮らしの現状と課題と対策について	
副議長	立山比呂志	- 土地の活用について - 町文化財について			
議長	立山秀喜			- 副町長不在について - 道路問題について - 農業振興について	

- ・一般質問の記事：質問した議員が1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に「です・ます」調で発言されています。
- ・「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。12月議会分は3月に公開予定。

「九州道南関インターチェンジ周辺の開発と土地利用について」 「役場庁舎への県道側進入口の道路整備について」

インターチェンジ周辺の 土地利用について

南関インターチェンジ（IC）周辺エリアには、観光スポットのアクセスや産業・商業施設が少ないため地域の発展には工夫が必要である。この地域の潜在的な価値を引き出し持続的な発展を促すための取り組みを尋ねる。

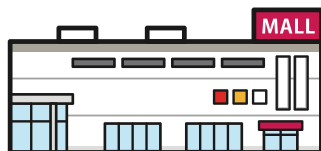
（町長） インターチェンジ周辺の開発が進めば、地域経済の活性化や人口の増加も期待でき、町の持続的な発展につながるものである。しかし、元段階においては具体的な計画等は何もないのが現状だ。町が実施する各種アンケート調査でも多くの町民、特に若者世代からは商業施設等の誘致を願う声も多く、人口流出の抑止及び本町への移住のきっかけとして大いに期待できるものであり、可能性は感じているところである。ただ、地元商工業者の理解がなければ進められないと考えている。今後可能性を探っていくのであれば、多くの関係者と協議して場を検討していく必要がある。

町民からの声がある長谷の埋め立て、周辺の農地が荒れて後継者がいなく荒廃地になっている。土地の整備で魅力的な立地条件が整うのではないかと、今まで埋もれてきた土地を生かしていかなければならない。情報収集と分析が必要と思うが。

（町長） 長谷を造成することは莫大に費用がかかるし、その周辺一帯を

整備しないと効果が上がらない。少し広い意味での全体の整備が必要と考える。福岡県の県境地域振興ビジョンが今、福岡県側で進められている。同じこの有明地域と同じ認識の中で協議を進めて行くことができればと思っている。

人口減少が加速する中、若者世代が南関町に移住定住するためには、魅力的な生活環境や働く機会を提供することが鍵となる。高速道路南関インター周辺の土地活用取組は、町の発展と住民の利益を両立させるために重要だ。地元住民の声や関係者の意見を反映し、持続可能な地域の発展を促進することを期待し、将来を見据えてほしい。



役場庁舎への県道側進入口の道路整備について

県道側から役場への進入口が曲がりくねっている道路形状で視界の遮りや歩行者の安全等危険や課題が生じる。直線化を求める。

（町長） 当該区間におきましては、庁舎建設に伴う周辺道路整備の際に議員の皆様より様々なご意見やご要望を頂いており、各関係機関と協議を行ってきた経緯がある。



広報常任副委員長
総務産業常任委員

矢野修一

現時点では、理想的な道路計画を実施するのは大変困難な状況にある中で、道路を利用される皆様方より様々なご意見をいただきながら「安全・安心に通行できる道路」となるよう改善を進めていく必要があるとは思っているが、町全体の振興のための道路計画等も鑑みていくことも重要であるので、長期的な視点に立って取り組んで参りたい。

交通の安全性を高めるには、一つの場合は、道路の路面に塗装するカラー道路の塗装は、視覚的な案内ということで、交通安全の向上に重要な役割を果たしている。あとは交通標識、ガードレールの設置も必要だ。具体的な改善策を検討し、結果を報告願う。

（建設課長） 今ある道路を利用しながら、通行する皆さんの安全性を確保するために、接続部が県道となり、それと交差点部となる。県警管轄になるので、関係機関としっかりと協議をしながら、早急な対応を行っていく。





文教厚生常任委員

井下忠俊

アピアランスケア (外見支援) について

各学校において、がんに対する正しい知識と、その患者に対する正しい認識が持てるような教育は行われているか。

(教育長) がん患者の方、またその家族に寄り添うとともに、自分自身の健康についても重要視しながら教育を行っている。

そういう背景の中、町はアピアランスケアとして、12万円の予算を組んでいるが、これは妥当な金額とされているか。

(健康推進課長) 既成製品の購入であれば、補助金の額は妥当と考えている。

山鹿市に、がんを経験された看護師の方が、その必要性に応じて『こんなのがあったら良いな』という思いを込めて選ばれたアイテムが並び、女性のためのセレクトショップがある。ご存じか。

(健康推進課長) この店は、存じていない。

「アピアランスケア（外見支援）について」 「町政懇談会について」

そこに行って話を伺った。抗がん剤や放射線治療等によって、髪が抜けたり、肌の色が変色した場合には、ウィッグ、帽子、サングラス等。また肌の変色については、化粧品からファンデーション。治療中にはオーガニック系の石鹸やボディソープ等、その品目は多種にわたる。あまり気にされない方もおられるが、必要とされる方も多い。到底この金額では不十分だと思うが、町長、どう思われるか。

(町長) これまでに、そのような制度を活用された方はおられないという事なので、今後実態を踏まえながら金額については検討する必要もあるかなと思う。

まだスタートしたばかりなので、今後、町民の方にも知って頂ければ、必要とされる方もいらっしゃると思う。その折にはぜひ再検討すべきである。それこそがアピアランスケアとしてのスタートだと思う。

町政懇談会について

懇談会への職員の方達の参加は、強制参加と自由参加のどちらか。

(総務課長) あくまで自由参加という事で、お願いしている。

参加のお願いにあたり、言い方を考えその意義をきちんと伝えなければ、一部の職員の方達にはパワハラと、とられかねないので、気をつけてほしいと思う。



(副町長) その辺は十分配慮して言葉かけはしているつもりである。

町全体の話も大事だが、せっかく校区ごとに開催されるのであれば、それぞれの校区に見合った話があったても良いのではないか。

(町長) 全ての校区において、今の町の全体の取り組み、そして将来について、同じ情報を流したいと思っている。

町の情報も大事だと思うが、やはり地域についてもその情報提供と質疑応答は大事だと考える。

まとめ

誰一人として望んでがんという病に罹られた方はいないはずだ。今、がんサロンなんかトップパ会というのが開催されている。そこには実際、がんに関与された方が来られているが、例えば10人の患者がおられても、その悩み辛さは10個ではなく、その何倍にも広がる。是非そこでの話を聞き、金銭的な事も含めさらなる支援が広がっていくよう望む。また、町政懇談会は大事な場である。町長の想いも十分受け取りながら、地域の声がより届きやすい場になる事を希望する。

「学校との信頼関係の再構築を!!」

不登校といじめについて

不登校の児童生徒の現状と対応について尋ねる。

(教育長) 令和5年度が小学生7人・中学生19人の合計26人、本年度が10月現在で小学生3人・中学生12人合計15人。不登校の児童生徒に対し、当該児童生徒の自立を支援し、促していく、教育的な関わりとして対応を考えており、不登校の初期段階から、「愛の0・1・2・3運動+1」を学校で実施し、不登校をうまない安心して過ごせる学級・学校づくり、本人と保護者、関係機関との連携を強化している。

フリースクールの利用状況について尋ねる。

(教育長) 町の児童生徒が通所するフリースクールで令和4年度5人・5年度3人(でんぐる・ソフィア)令和6年度4人(ソフィア・ゼロスクール・トライ)。

フリースクール認定制度、及びフリースクール等利用料補助金の導入について町の考えを尋ねる。

(教育長) 国会において教育機会確保法成立の際、附帯決議において、負担軽減のための経済的支援の在り方について検討することとされた。町としては、国の検討状況も参考にしながら、フリースクールの実態について情報収集し、不登校児童生徒に対する支援の在り方について研究していく。

いじめの現状とその対応について問う。

(教育長) いじめ認知件数の推移は、令和3年度は2件(小学校1件・中学校1件)、4年度は4件(小学校4件・中学校0件)、5年度は、6件(小学校5件・中学校1件)6年度10月現在4件。いじめや差別を受けた児童生徒に対して、その後の様子を全職員で注意深く見守り、いじめ情報担当者や養護教諭等が中心に対応し、必要に応じてSCを要請するなど心のケアに努めている。更に、「いじめ防止対策推進法」におけるいじめの定義の正しい理解に基づく積極的な認知と、担任が一人で抱え込むことなく組織的な対応を徹底することを、各種研修会を通して周知を図っている。

教育現場が、適切かつ迅速に対応するための指針となる不登校対応マニュアル及びいじめ対応マニュアルの策定検討について町の考えを尋ねる。

(教育長) 不登校児童生徒はどの学校にもうまれ出てくる可能性があるという危機感をもとに、町内として



文教厚生常任副委員長
広報常任委員
議会運営委員

福山美佳

はしっかりとそれぞれの学校に作成をお願いしていきたい。統一したものあればよりいい。先生方がしっかりと指針に沿って進めることができと思うので、検討して学校をお願いをしていきたいと考えている。

まとめ

不登校傾向、不登校の児童生徒数を問題視しているのではない。学校生活のいいところ、楽しんで生き生きしている子どもたちに焦点は当たりがちですが、その中で、とりこぼされている子どもたちの笑顔がたくさんあります。町が主導となって学校をサポートし、今の保護者が抱く学校に対する不安要素を軽減し、生徒先生、生徒学校、保護者と学校の信頼関係を再構築し、町子どもたちが未来に向かって、この南関町で健やかに成長することを強く願う。





広報常任委員長
議会運営副委員長
総務産業常任委員

伊藤 博長

「今後荒廃農地は急速に拡大。基本方針を明確にし町独自の政策を！」
「環境保全型農業直接支払交付金制度の利用促進を！」

(町長)

南関地区：関町・関東区域

賢木地区：長山・宮尾区域の一部

大原地区：東豊永区域の原の部分

坂下地区：井手から中原区域

四ツ原地区：田原・上南田原区域と

なっている。

含めて、工業団地をつくらうという動きが加速化している地域がある。やはり、話し合いによりその地域全体の皆さんが理解をした上で、その地域をどういった形にしようというまとまりができてくれば、町としては後押ししていきたい。

荒廃農地の現状と対策

南関町の農村は農業者の減少、農地所有者（土地持ち非農家）の不在村化が進行しており、荒廃農地が増え、イノシシも過去最高に増えている。現在、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金制度による対象の農地はかろうじて守られていると思うが、対象外の農地が特に荒廃している。

また、対象の農地でも荒廃農地予備軍が多く今後急速に増えることを懸念している。町の荒廃農地対策について問う。

①この対象外の農地はどれくらいあるのか。

(町長) 令和5年度農林水産省作物統計調査では、本町の耕地面積は1,310haで、その内、多面的機能支払交付金制度や中山間地域等直接支払制度の対象となる農用地区域が1,038haであり、両事業に加入していない面積は、約608ha・58.5%。

②組織活動により守られていない農地が約6割という、これは衝撃的な数字だ。特に対象外の農地が多い地区はどこか。

③荒廃農地対策をどのように考えているか。

(町長) 農地パトロール、意欲ある農業者への農地の集積・集約化。また、有害鳥獣対策（捕獲と侵入防止柵の設置）に支援。その他、農地の耕作放棄を防止し、農村環境の保全を図るため、多面的機能支払交付金制度や中山間地域等直接支払制度への加入を促進し、現在の加入面積（約430ha）からの拡大を図っていく。

農地に関する基本方針が明確になっていないと思う。例えば「農地は地域で守る」、「基盤整備事業の加速化」、「守るべき農地と山に戻す農地の明確化（ゾーニング）」、「山に戻す農地は計画的に」。

こういう基本方針を明確にして、中身のある地域計画、保全隊活動の活発化、そして、「地域ぐるみで栗の栽培を推奨」「タケノコ栽培の推奨」等、町独自の政策を地道にやっていく必要がある。

(町長) 基本は基盤整備の推進だ。また、町のいろんな土地（農地、宅地、工業地等）に関して、農地としては、地域計画でしっかり話し合いを行っていただき、その地域の農地の特性を生かしてほしいし、今非常にいい例は、南関町の中でも農地や山林を



荒 廃 農 地

環境保全型農業直接支払交付金制度の利用促進を！

南関町は、国が推奨している環境保全型農業直接支払交付金制度の利用が一件もない。その理由は？

(経済課長) 化学肥料は従来の5割減、農薬も従来の5割減というように、本制度の取り組み要件が非常に厳しいことが挙げられる。

山鹿市、菊池市、山都町など積極的に取り組んでいる自治体も多く、今のままでは有機栽培技術の習得という点で南関町は取り残される。町長は9月議会で「南関米のブランド化」に取り組むと言及された。

南関米のブランド化の付加価値として、例えば、元肥として大和フロンティアの笹サイレージ等を利用した栽培技術の習得など、JA等の協力を得て、環境保全型農業直接支払交付金制度を活用したらよいと思う。

「健康寿命を延ばす施策について」

高齢化率41.8% 介護認定率21.5%
町の高齢化率、介護認定率ともに全国・県より高く、R6年の人口8,648人の人口分布を見ると、0歳～14歳の人口より85歳以上が多い。

年齢区分	人口	比率	1学年当
0～14歳	836人	9.7%	55.7人
15～64歳	4,184人	48.3%	83.7人
65～74歳	1,533人	17.7%	153.3人
75～84歳	1,210人	14%	121人
85歳以上	885人	10%	

町民すべてのサクセスフルエイジングのために

皆さんに元気で生き生き心身ともに健康に天寿を全して頂くには、町の柔軟で責任ある施策が必要である。健康寿命を延ばす3つの柱は「適度な運動」「食生活」「社会参加」。この3つがそろっている場が「元気づくりクラブ」だと思う。R5年の参加者は65歳以上の人口3,644人に対して439人で参加率約12%。減少傾向にもあり、現状をどう見ているか。

（町長）56地区のうち52か所で元気づくりの体操をしており、普及率が93%。南関町のように普及率が高いところはない。国は10%以上を目標値に掲げている。この12%が決して高いとは思っていない。また男性と女性の参加率の格差が大きいので、男性の参加率をもっともっと上げて、全体の参加率を上げていけるようにしたい。



様々な事業や機会を提供するまでが役場の仕事、そこに参画するかどうかは、あくまで個人の自由意思・責任の範囲なので強制はできないという姿勢、考え方があるように見える。この姿勢が、様々な施策の減少傾向、停滞を生んでいると思うが。

（町長）それぞれの人の考え方がある中で、絶対参加して頂くということは難しいと思うが、参加すれば楽しかったなと思われると思う。その周知が、行政は下手なところでもあるので、強制じゃないけれども、参加したら楽しいよっていうことが伝わるような、いろんな催しにしていきたい。



「健康寿命日本一宣言の町」に向かって

町民の意識・ベクトルを一つにする目標を立てることで、個人の責任と同時に町にも責任が生まれる。町が事業を行う動機づけにもなり、町民に参加していただく、その背中を押してくれるんじゃないか。あくまで長年の生活習慣も食生活も個人の意思自由ですが、町全体で日本一を目指す姿を示すことで、一人一人の意識に浸透し、意識改革につながっていくのではないかなと思うが。

（町長）町内全ての方が理解していただいた上での宣言だと思うので、そのような機会をつくりながら宣言につなげることができれば。



文教厚生常任委員長
議会運営委員

北原浩一郎

- ①元気づくり体操が自宅でもできるようにQRコードを掲載した、運動や食生活の情報を掲載したポスター作成。
- ②「健康寿命日本一宣言の町」という看板を主要な道路に立てて、町内外にアピールする。
- ③校区別のフットパスコースを使ったウォーキング大会開催。
- ④健康ポイント事業の実施などの実施の検討を。

（町長）7年度から、ポイント事業に参加を予定している。南関町の公式LINEの機能の中に入れ活用できるように計画している。

現在40～50歳世代の30年後

健康寿命に関することが日常の挨拶・会話になったら、それはもう文化。そうなれば、社会貢献を生きがいとしつつ元気で生き生きと活躍している、そのような生活をしている高齢者が多い町「健康寿命日本一の町」が実現していると確信する。

シルバー人材センター

& 広報委員



剪定作業

議員

南関町シルバー人材センターの設立の目的は何でしょうか。

定年退職者や高年齢退職者の希望に応じた臨時的、短期的な就業の機会を組織的に提供することです。それに伴い高齢者の能力を積極的に活用することができ、高齢者の福祉の増進が図られることが目的になります。

議員

シルバー人材センターの会員数、年齢構成、受注件数などの概要を教えてください。

設立はH16年で、設立から20年を超えました。

会員数：64名（男性35名、女性29名）

平均年齢：73歳

年齢別構成は、以下のとおりです。

年齢別構成	60～64歳	2人	3.7%
	65～69歳	9人	16.6%
	70～74歳	19人	35.2%
	75～79歳	19人	35.2%
	80歳以上	5人	9.3%

R5年度の受注件数702件（公共30件、民間672件）で、就業延べ人員（人日）7,543人日、請負金額41,520千円です。



議員

どのような活動をされていますか。

草刈り班の場合、作業は必ず2名以上で行っています。斜面など作業が困難な場所では、お互いが協力しながら安全を確認して作業しています。

剪定班も共同作業で、作業によって軽労働、重労働がありますので、ローテーションを組んでひとりに負担が重くならないようにしています。その他、伐採、草取り、農作業、家事援助、屋内外の清掃などがあります。

議員

最近はどのような作業依頼が増えているのでしょうか。

高齢になり自分で作業ができなくなった方からや、県外から町内の持ち家（空き家）の外回りの除草作業の依頼が増えています。

遠方なので、直接現場での作業内容や範囲などの依頼指示が不可能なため、敷地の境界などわからないこともあり、苦勞することがあります。

議員

その他、苦勞することはありますか。

作業に着手する時、依頼者のご家族で意見が違うことがあり、例えば、この木を切るか切らないなどで依頼の指示が明確にならなかったりします。作業をスムーズに進めるためにも、事前にご家族間で話をまとめておいていただきたいと思います。



草刈作業

議員

特に夏場の猛暑・酷暑で、野外作業は厳しくなっていると思いますが、現状はどうですか？

確かに夏場の猛暑・酷暑で危険な作業になっています。熱中症予防のため適切な休憩と十分な水分を補給するなど、事故がないように配慮しています。また、作業時間を早朝に行うなど、今後も工夫した作業に心掛けしていきたいと思っています。



議員

仕事の選択や人間関係についてお聞きします。

仕事に関して人間関係の難しさや、体力的に厳しい業務とを感じる方もいらっしゃると思います。特に先輩会員との関係や肉体労働の多さに戸惑う声も聞かれます。しかし、自分の体調や希望に合わせて仕事を選べる柔軟性があるため、無理のない範囲で活動が続けている方が多いようです。

議員

活動していてよかったと感じるときはどのような時ですか。

何とんでも、作業を終えて「頼んでよかったと言われること」、「ありがとうと喜んでもらえること」にやりがいを感じますし、疲れもやわらぎます。

議員

今後の課題は何かありますか。

会員は高齢化しており、新規会員の確保が課題です。H18年は会員の平均年齢は65歳でしたが、現在は73歳になっています。企業の定年延長などが理由だと思いますが、シルバー人材センターは高齢者が地域社会に貢献し充実した生活を送るための重要な役割を果たしています。この活動に若い人も興味をもってもらい、ぜひシルバー人材センターに加入していただきたいと願っています。



清掃作業

あなたの経験と能力が今、地域社会で必要とされています。

新規会員
募集中!



住民のみなさまに感謝され、
いきいきとしたシルバーライフ、
一緒に働きましょう!

お気軽にご相談ください。

☎0968-66-9288



南関町シルバー人材センターのみなさん

前列左から

松原 浩子さん(事務局員)
島崎 演さん(事務局長)
坂井 秀幸さん(会員)
田中正一さん(会員)
永松 勇吉さん(会員)
城戸 利男さん(会員)

※写っておられない会員 約60名

高齢者がそれぞれの知識と経験を活かし、社会と関わり続けていく場として、また働く場所でありながら生きがいを創出する場だと改めて感じました。今後、さらに少子高齢化が進む中、シルバー人材センターの存在は、地域の課題解決に向けて重要な役割を担う存在であることは確かである。会員の皆さんの声を聞きながら、私たちもできる限りのサポートをしていきたいと思っています。

広報常任委員会

南関中3年 ^{くら みつ す せ り} 蔵 満 須世里 さん

私が考える、南関町の未来



南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

私は高校進学にあたり、寮生活を始めるために、南関町を離れることになります。南関町を振り返ると南関町には挨拶をしてくださる方が多く、心の温かい人々が互いに支え合っている町だと思います。私は以前挨拶が苦手でしたが、南関町では道を歩けばすれ違う人が気持ちよく挨拶をしてくださるので、私も自然と挨拶ができるようになりました。自転車通学の際には旗を持って安全を見守ってくれる方々もいてくださって本当に優しい人たちが多いなと感じます。また、南関町は豊かな自然に囲まれて季節ごとに移り変わる美しい景色が見られる場所でもあります。

これから南関町を離れ、新しい環境で生活しますが、南関町で学んだ挨拶の大切さを大事にして、自分から積極的に挨拶や感謝を伝えられる人になりたいです。そして将来は南関町に恩返しができるような存在になりたいと思います。例えば南関町の魅力をより多くの人たちに伝えたり、まちを支える活動に

参加したりすることで、この温かい南関町をさらに素敵な場所にできる人になりたいです。

南関町の未来がより明るくなるように、自分自身も高校生活を通して成長していきたいです。

議会傍聴しませんか

9月定例議会の傍聴人数はのべ17人でした。

2日：11人、3日：12人、7日：2人

定例議会は、年に4回・・・3月、6月、9月、12月に開催。 ●どなたでも傍聴できます。 ●定員 30人

議会日誌

■10月

- 10月2日(水) 広報常任委員会
- 10月3日(木) 文教厚生常任委員会
- 10月9日(水) 町村議会議員研修会
- 10月10日(木) 文教厚生常任委員会(出前授業)
- 10月15日(火) 総務産業常任委員会
- 10月17日(木) 広報常任委員会
- 10月24日(木) 全員協議会
- 10月28日(月) 広報常任委員会

■11月

- 11月5日(火) 総務産業視察研修会
- ～6日(水)
- 11月18日(月) 文教厚生常任委員会
- 11月19日(火) 総務産業常任委員会
- 11月21日(木) 全員協議会
- 11月22日(金) 議会運営委員会

■12月

- 12月3日(火) 第4回定例会
- 12月4日(水) 第4回定例会
- 文教厚生常任委員会
- 総務産業常任委員会
- 広報常任委員会
- 議会運営委員会
- 12月5日(木) 全員協議会
- 12月6日(金) 第4回定例会
- 12月20日(金) 広報常任委員会

ティーブレイク



「僕のペット！」

最近、息子に新しい友達が出来た。週末の夕方を心待ちにしている。なぜなら、大好きな「ペット友達」に会いに行けるからだ。昨年、我が家にマルチーズとプードルのミックス犬、名称ゲンが新しく家族となった。それを機に、息子がゲンの散歩で仲良くなった方「ペット」との交流が始まった。

初めは、ワンちゃん同士が仲良くなって今では、ゲンを連れだし、「ペット」のおじちゃん、おばちゃんとの交流を楽しんでいる。息子からしたら、同い年の友達の家へ遊びに行く感じなのかな。一緒に過ごす「ペット会話」の時間が大好きらしい。

野球の試合で遠方に行けば、おこづかいでお土産を買い、メッセージまで書いて渡しに行ける週末を心待ちにしている。毎回、いっぱいお話をしたと、帰ってきてからも楽しそうに様子を話してくれる。

10歳の子どもを本当の孫みたいに接して頂き、「いつでもおいで」と優しく迎えてくれる地域のおじちゃん、おばちゃん。感謝感謝だ。地域と関わりながら成長していく息子の姿と、週末を楽しみにしている息子を横で見ていると、私も嬉しく幸せな気持ちになる。ここで子育てができてよかった。(福山美佳)

□発行責任者

議長 立山 秀喜

□編集(広報常任委員会)

委員長 伊藤 博長

委員 山口 純子

副委員長 矢野 修一

委員 福山 美佳